



JR北海道第二世代の
特急形電車**789系**、
本州・北海道間の速達化を果たした
「スーパー白鳥」を新発売。

N
GAUGE



付属「増結セット」のモハ788形併結側は密連形TNカブラー(装着済み)、さらに併結時の連結面間を実感的に見せるクハ789形前頭部用幌枠(トレインマーク差込口を利用して装着)を用意しています。また、両セッティングすれも選択式バーツとして、前面の貫通路渡り板が付属します。



●モデルは先頭車前頭部側面の「HEAT 789」のロゴマークを始めとして、クロハ789形のグリーンカーマークと車いすマーク、各車の乗降用ドア脇の地図イラストとロゴマークを細密な印刷で仕上げています。また、新たに製作した室内シート部は、車両によってシートカラーを違えている他、クロハ789形では写真のようにグリーン席、普通席で異なるシートカラーを再現、さらに同形の室内照明(別売)は、電球色のグリーン席側と、白色の普通席側それぞれで異なるユニットを装着できる構造であります。なお、クリアーブルーの側面ガラスはブルーライン柄を内側に表現、床下周りでは台車、トイレタンク、中間車の車端部スカートを新規に製作し、着雪対応の床下機器カバーも細部にわたって再現しています。



●屋根ビード(フレスリフ)は、6両セッティング各車(写真左／サハ789形を除く)が間隔の狭いタイプを、増結セット各車(写真右)が間隔の広いタイプを再現しています。なお、クハ789-200形、300形のワイパーの色は200形が黒、300形が銀で作り分けており、運転台屋根の信号管は車体と一緒に再現、無線アンテナは取り付け済みとしています。さらに、各車屋根上のN-AU789形クーラーは新規に製作し、モハ788-300形以上時、折り畳み時共にリアルな形態のバーツを使用、バンタグラフ周りの高圧機器類を各種バーツで作り込んでいます。



6両セット



2両増結セット

JR北海道789系は、民営化後初となる785系に続く、同社第二世代の特急形電車で、0番代と1000番代の2タイプが新製されました。この内、0番代は2002(平成14)年12月の東北新幹線八戸延伸開業の際、本州・北海道間の速達化を目的に、特急「スーパー白鳥」として運転を始めました。同社のキハ261系を基本とした0番代は、青函トンネル通過のための装備を持ち、車体に軽量ステンレスを採用、鋼製とされた前頭部は高運転台、貫通構造とされました。また、塗色は前頭部をコバルトレッドカラーのライトグリーンとし、その境にブルーの帯を入れ、各車の乗降用ドア部分にはライトグリーンの帯、津軽海峡の地図イラストとロゴマークが配されていました。2016(平成28)年3月のダイヤ改正で、北海道新幹線が新青森駅から新函館北斗駅まで開業すると、配属先が函館から札幌に移り、現在は道内専用の1000番代と共に、札幌を中心とした都市間輸送に活躍しています。

トミックスではこの789系0番代が青函トンネルを駆け抜けた、特急「スーパー白鳥」時代の姿でモデル化、基本となる編成が当初の5連(2+3)から6連(3+3)となった2006(平成18)年以降を模し、通常期のこの6連と繁忙期の8連も再現できるよう、6両セットと2両増結セットによる構成としています。6両セットに付属するモーター車には、従前通りにM-13モーターを使用したフライホイール付き動力ユニットを搭載、各車に新集電システム、黒色車輪を採用し、6両セットには増結セットにも対応する転写シート(車体番号、運転台前面の編成番号、回送運転台妻面の編成番号)が付属します。

7890系

スーパー白鳥

■JR 7890系特急電車(スーパー白鳥)セット(6両)
<98895>予価¥27,830(税込)

■JR 7890系特急電車(スーパー白鳥)増結セット(2両)
<98896>予価¥8,580(税込)

JR北海道商品化許諾済 8月発売予定